

令和7年度 移植医療支援室 活動報告

移植医療支援室は、令和7年4月に設置された。

また、厚生労働省 令和7年度臓器提供施設連携体制構築事業において拠点施設に選定された。

1. 臓器移植・移植医療の相談に関すること

1) 臓器提供施設連携体制構築事業

・連携施設より6件の相談対応。

2) 院内における相談

・「臓器提供したい」「親族優先の提供をしたい」など4件の相談対応。

・なんでも相談室、公益財団法人 静岡県腎臓バンク、外来より相談があり連絡を受けて対応。

2. 臓器提供・移植医療に係る関係機関との連絡調整、各種手続き、患者・ドナー及びその家族への支援、データ入力に関すること

1) 臓器提供施設連携体制構築事業

(1) 連携施設において臓器提供がある場合は連絡を受けて、臓器提供実施への支援の必要の有無、臓器提供の見学受け入れの調整対応。

静岡県内では、6件の臓器提供が行われ、うち症例見学の受け入れが行われたのは4件。

(2) 拠点施設・連携施設職員の移植に関する研修・学会参加の支援。

旅費や参加費を補助するための連絡調整、手続き対応。

(3) その他

第28回 日本救急医学会中部地方会（令和7年11月29日）において中部地方の拠点施設で意見交換を行った。藤田医科大学病院があっせん機関「一般社団法人中部日本臓器提供支援協会」（CODA）を設立することを共有。

また、令和8年度日本集中治療医学会 第10回東海北陸支部学術集会の翌日にサテライト研修として、「地域ドナーコーディネーターチーム養成コース」の開催について中部地方の拠点施設へ協力を依頼。

3. 地域における臓器提供・移植医療体制の構築に関すること

1) 拠点施設・連携施設の定例カンファレンス実施（4回/年）

(1) 第1回：令和7年6月2日（水） WEB 配信

GCS3レジストリ症例提出についての説明、法的脳死判定マニュアル2024の変更点の説明、事業計画の報告。

(2) 第2回：令和7年9月16日（火） 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

各施設によるGCS3レジストリ症例報告、臓器提供に至らなかった事例報告と共有、2例の臓器提供報告、「地域ドナーコーディネーターチーム養成コース」研修の報告。

(3) 第3回：令和7年12月16日（火） 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

各施設によるGCS3レジストリ症例報告、2例の臓器提供に至らなかった事例報告と共有、日本救急医学会中部地方会学術集会における「臓器提供シンポジウム」の報告。

(4) 第4回：令和8年3月10日（火） 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

各施設によるGCS3レジストリ症例報告、令和8年度臓器提供施設連携体制構築事業の説明、連携施設への登録依頼、各施設への出張研修の検討依頼。

4. 臓器提供・移植医療の理解と普及啓発を目的とした講演会に関すること

1) 外来患者・職員に向けた普及啓発活動

令和7年10月1日～7日の5日間 外来玄関でパンフレット等を配布。また、2日間は公益社団法人 日本臓器ネットワークマスコット「ハーティ」、公益社団法人 日本看護協会キャラクター「かんどちゃん」と外来患者及び病棟への普及啓発活動を実施。

2) 急性期重症患者支援研修：浜松医科大学医学部附属病院（ハイブリッド開催）

開催日：令和7年11月4日（火）

参加者：41名

参加職種：医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、臨床工学技士、大学教員、事務職

講師：聖隷浜松病院 入院時重症患者対応メディエーター・院内ドナーコーディネーター林美恵子先生

講義内容：急性期重症患者の家族支援の在り方について

3) 講演会「終末期医療と臓器提供」：浜松医科大学医学部附属病院（ハイブリッド開催）

開催日：令和7年12月11日（木）

参加者：48名

参加職種：医師、看護師、臨床検査技師、臨床工学技士、大学教員、事務職

講師：岡山大学病院 医師 湯本哲也先生

講演会内容：岡山大学高度救命救急センターの取り組みについて

日本専門医機構の専門医共通講習（医療倫理）1単位取得の講演会として。院内6名、院外2名の受講証明書を発行。

5. 臓器提供・移植医療を安全に行うことを目的とした研修に関すること

1) 院内シミュレーション：浜松医科大学附属病院

開催日：令和7年9月30日（火）

参加者：25名

講師：移植医療支援室メンバー

参加職種：医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、臨床工学技士、リハビリテーション技師、事務職

研修内容：「移植医療の基本的な考え方と現状を知る」「成人からの脳死下臓器提供の手順と参加者自身がどこに関わるのかを知る」「移植医療支援室が目指すものについて知る」を目標に、講義とカードを用いた机上シミュレーションを実施。

2) 脳波判定における円滑な脳波測定：浜松医科大学医学部附属病院（ハイブリッド開催）

開催日：令和8年1月23日（金）

参加者：60名

参加職種：医師、臨床検査技師

講師：筑波大学附属病院 臨床検査技師 西村光代先生

浜松医科大学医学部附属病院 臨床検査技師 光岡麻由佳先生

講義内容：脳波測定の基礎について、法的脳死判定における脳波測定実例報告

3) ワークショップ：浜松医科大学医学部附属病院

開催日：令和8年2月7日（土）

参加者：17名

参加職種：医師、看護師、臨床検査技師、薬剤師、大学院生、大学院教員

（院内10名 院外7名）

講義：脳死下臓器提供の流れ

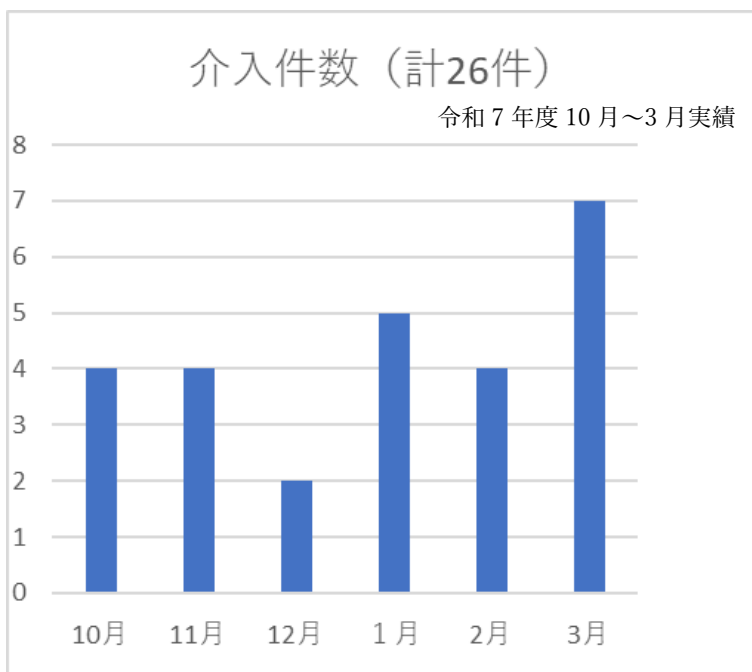
講師：環境省 大臣官房 環境保健部 企画課 特別疾病対策室 室長補佐 医師 吉川美喜子先生
シミュレーション：「法的脳死判定」「臓器提供の選択肢提示（説明）と家族への対応」
ファシリテーター：浜松医療センター 水谷敦史医師、中東遠総合医療センター 松島暁医師、静岡済生会総合病院 上田理恵子看護師、浜松医療センター 遠藤祐子看護師、静岡県立総合病院 中村祥英看護師、国立病院機構 水戸医療センター 小川直子看護師

6. 臓器提供委員会の運営に関すること

- 1) 第1回臓器提供委員会開催 令和8年2月24日（火）
 - ・法的脳死判定手順改訂
 - ・当院の臓器提供状況の報告

7. その他臓器提供・移植医療に関し必要な事項

- 1) 入院時重症患者対応メディエーター活動開始 令和7年10月
看護師と医療ソーシャルワーカーの2人体制で集中治療室（ICU）と高度治療室（HCU）を中心に活動を開始。



支援内容	件数
家族面談	25
情報共有	20
聞く 気持ち整理・不安	17
IC同席	16
家族理解フォロー	7
患者状態を伝える	4
家族の体調・状況確認	4
人となり 聞く	2
医療費質問	2
MSWつなぐ	2
多職種カンファ	1
よくなっている所共有	1
カウンセリング手配	1
ポジティブフィードバック	1

- 2) 臓器提供・移植連携に関する打ち合わせ 令和7年11月19日（水）
腎臓移植チーム（磯部医師、本山医師、東田レシピエントコーディネーター、中嶋レシピエントコーディネーター）と移植実施体制について協議。
令和8年度、移植医療支援室に腎臓移植チームメンバーも参加方向で検討。
- 3) 移植医療支援室の内規改正（令和8年3月）
移植医療支援室に移植チームのメンバー加入。
腎臓内科医1名、レシピエントコーディネーター5名
- 4) 遠隔診療システム購入
遠隔支援の環境構築 臓器提供施設連携体制構築事業（第二次）に応募し採択。
遠隔診療システムを当院、聖隷浜松病院、藤枝市立総合病院に設置し、運用開始。
- 5) 法的脳死判定手順改訂（令和8年3月）
施行規則の省令、ガイドラインの一部が令和5年12月、令和7年10月に改正、施行に対し「法的脳死判定マニュアル2024」に準じて院内マニュアル改訂対応。

8. 総括

令和7年度は当院では臓器提供は行われなかった。令和8年度も臓器提供施設連携体制構築事業に応募している。遠隔診療システムの設置がされ、臓器提供における拠点施設・連携施設の連携体制の強化につなげていく。また、移植医療支援室メンバーに移植チームのメンバーが加わり、当院の移植医療の発展が期待される。

院内シミュレーション 令和7年9月30日



ワークショップ 令和8年2月7日

